



# 千葉市SDGs債（2023年度発行分） 資金充当状況/インパクトレポーティング

2024年7月

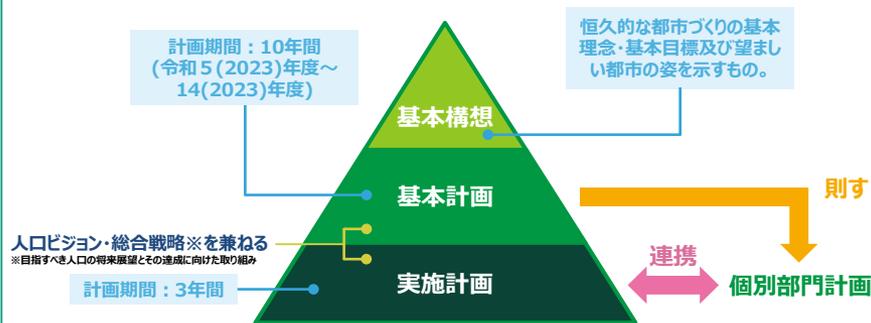


- 令和5年4月に、**千葉市基本計画**がスタートしました。
- SDGsの「**誰一人取り残さない**」といった視点等を踏まえ、10年間のまちづくりの方向性や分野目標を定めています。

## 千葉市基本計画の概要

### 1 計画体系・計画期間

- 市の総合計画は、基本構想、基本計画、実施計画の3層で構成されています。
- 基本計画は、基本構想の実現に向け、**まちづくりの方向性や今後の施策展開を提示するもの**です。
- 市政の特定課題等に対応するために、各部門が定める個別部門計画と連携しています。
- 基本計画の計画期間は、令和5年（2023年）4月1日から令和15年（2033年）3月31日までの10年間です。



### 2 取組方針

- SDGsの達成など将来を見据えた本市の10年後の姿を「**みんなが輝く 都市と自然が織りなす・千葉市**」と定め、新たな価値が生まれ、一人ひとりが個性を活かし自分らしく活躍できるまちの実現を目指します。
- 分野横断的かつ重点的に取り組むべき戦略的視点を踏まえ、各分野で市民や団体、企業、大学、行政などが連携し、「みんな」でまちづくりを進めていきます。

#### 「4つの戦略的視点」

- 100年先に引き継ぐ 持続可能なまちづくり
- ゆとりを生み・活かす 創造的なまちづくり
- 世界とつながる 多様性を活かしたインクルーシブなまちづくり
- 都市機能の集積を活かした 地域経済・社会の活性化

#### 「まちづくりを進める力」

市民をはじめとした多様な主体の一層の連携と公共私役割分担の見直しにより、多様な主体がまちづくりに挑戦



#### SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

まちづくりの基本方針に沿って、8つの分野で分野間の連携を図りながらまちづくりを推進します。



- 令和5年6月に、本市におけるSDGs債のルールを定めたフレームワークを策定しました。
- 第三者評価機関の(株)日本格付研究所より、**最上位評価のSU1(F),Blue1(F)を取得**しています。

## 千葉市サステナビリティファイナンス・フレームワーク（R5.6公表版）の概要

### 1 適合性確認対象の原則等

- グリーンボンド原則2021(ICMA)
- ソーシャルボンド原則2021(ICMA)
- サステナビリティボンドガイドライン2021(ICMA)
- グリーンボンドガイドライン2022年版(環境省)
- ソーシャルボンドガイドライン2021年10月(金融庁)
- Guidelines for Blue Finance 2022年1月(IFC)

### 2 プロジェクトの評価及び選定プロセス

- 財政局財政部資金課が各部局にヒアリングを実施し、環境面および社会面において便益が見込まれるプロジェクトを抽出し、当該プロジェクトによるリスクを特定した上で、その対処法についても確認して選定します。

### 3 資金管理

- 調達資金は原則、当該年度中に適格プロジェクトに充当されます。
- 調達額が適格プロジェクトに係る資金充当の合計額を超過しないよう適切に管理します。
- 未充当資金が発生した場合には、充当されるまでの間、現金または安全性の高い金融資産で運用します。

### 4 レポートニング

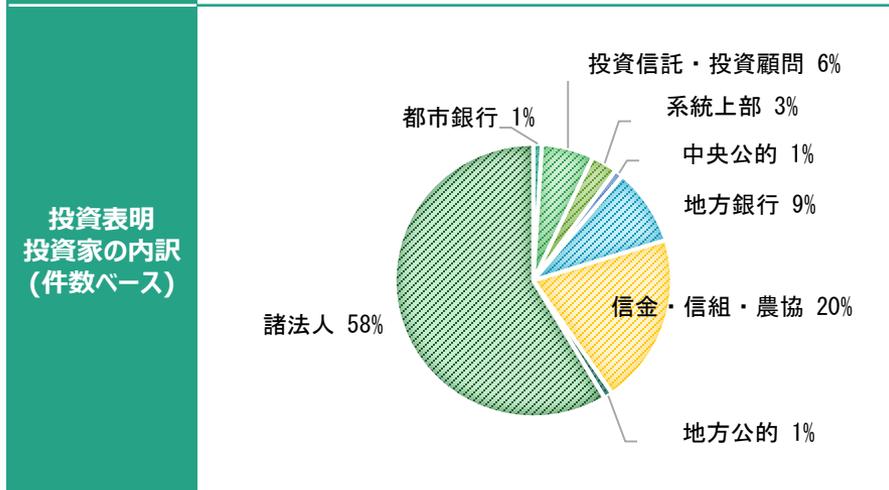
- 充当金額等を記載した資金充当状況レポートニング、プロジェクトの実施による成果等を記載したインパクトレポートニングについては、発行の翌年度に開示します。
- 当初の想定から大きな状況の変化が生じた場合には、速やかに開示します。

# 千葉市令和5年度第4回公募公債（サステナビリティボンド） 発行概要/投資表明投資家

- 令和5年8月に、千葉県内の自治体で初めてSDGs債を発行しました。
- 発行額50億円に対し**364.2億円(約7.3倍)**の需要が寄せられ、**77件**の投資家様に購入いただきました。

## 発行概要

名称	千葉市令和5年度第4回公募公債（サステナビリティボンド）
年限	10年（満期一括償還）
発行額	50億円
応募額	364.2億円
利率	0.782%
条件決定日	令和5年8月4日（金）
発行日	令和5年8月25日（金）
引受会社	三菱UFJモルガン・スタンレー証券（事務）、みずほ証券
購入対象	機関投資家向け



※小数点以下を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合があります

## 投資表明投資家一覧（敬称略・50音順）

1	アセットマネジメントOne株式会社	36	新日本建設株式会社
2	足立成和信用金庫	37	株式会社ストラクス
3	株式会社天野産業	38	全国共済農業協同組合連合会
4	株式会社アルファ・メンテック	39	医療法人社団創進会
5	株式会社池田泉州銀行	40	総武機械株式会社
6	石川かほく農業協同組合	41	株式会社カヨシ
7	いちい信用金庫	42	株式会社千葉共立
8	株式会社ウィード	43	株式会社千葉銀行
9	株式会社ウチダ	44	一般財団法人千葉県公立学校教職員互助会
10	株式会社内山アドバンス	45	千葉県信用保証協会
11	エイチ・ジー・サービス株式会社	46	公益財団法人 ちば県民保健予防財団
12	太田プレス株式会社	47	株式会社千葉興業銀行
13	株式会社オートウェーブ	48	学校法人千葉明德学園
14	大西総業株式会社	49	銚子商工信用組合
15	鹿児島信用金庫	50	株式会社銚子丸
16	鎌ヶ谷巧業株式会社	51	東京海上アセットマネジメント株式会社
17	観音寺信用金庫	52	株式会社 トライ・インターナショナル
18	一般財団法人 君津健康センター	53	西三河農業協同組合
19	有限会社クサノ	54	日東工業株式会社
20	株式会社クレックス	55	株式会社日本貿易保険
21	株式会社京葉銀行	56	飯能信用金庫
22	国際空港上屋株式会社	57	株式会社東日本銀行
23	三栄メンテナンス株式会社	58	東山口信用金庫
24	株式会社サンカジロ	59	尾西信用金庫
25	株式会社三協リール	60	氷見市農業協同組合
26	株式会社三建	61	ひろしま農業協同組合
27	三洋コンクリート工業株式会社	62	碧海信用金庫
28	サンレイ工機株式会社	63	株式会社北洋銀行
29	株式会社 シー・エス・ランパー	64	北海道信用金庫
30	公益財団法人 自動車リサイクル促進センター	65	株式会社みずほ銀行
31	株式会社勝電ユニテック	66	三菱UFJ国際投信株式会社
32	白石管工事株式会社	67	明治安田アセットマネジメント株式会社
33	信金中央金庫	68	公益財団法人 八千代市地域振興財団
34	新光重機株式会社	69	山一興産株式会社
35	株式会社新昭和		

# 千葉市令和5年度第4回公募公債（サステナビリティボンド） 資金充当状況/インパクトレポート概要

プロジェクト分類	対象事業	貢献するSDGs	充当額(百万円)		環境改善効果、社会的便益等
			新規分	借換分	
(グリーン適格プロジェクト) グリーン輸送	千葉都市モレール 関連事業		551	101	回生車両導入車両数…1編成2両 設備改修対象駅舎数…2駅 CO <sub>2</sub> 排出削減量…106.2697t-CO <sub>2</sub> /年
(グリーン適格プロジェクト) グリーンビルディング	新庁舎整備事業	 	1,091	0	BELSの最高ランクの5つ星を獲得 第三者評価機関によるZEB Ready認証を取得 CO <sub>2</sub> 排出削減量…249.9934t-CO <sub>2</sub> /年
(グリーン適格プロジェクト) 気候変動への適応	河川管理事業 (浚渫工事)	 	512	0	二級河川坂月川の738mの浚渫工事を実施 準用河川生実川の185mの浚渫工事を実施 他 川底に堆積した6,220m <sup>3</sup> の土砂を除去
(ソーシャル適格プロジェクト) 必要不可欠な サービスへのアクセス	小学校改修工事		1,198	21.6	改修工事実施校数…15校 令和6年5月1日時点の対象校児童数合計…7,210人 インパクト：学校教育の振興
(ソーシャル適格プロジェクト) 手ごろな価格の 基本的インフラ設備	橋の耐震化・架替工事		364	290.4	架替工事…2件、長寿命化工事/設計…33件 耐震補強工事…7件 インパクト：防災対策の推進
(ソーシャル適格プロジェクト) 手ごろな価格の 基本的インフラ設備	トイレのバリアフリー化		871	0	市内小・中・養護学校工事/設計…289件 昭和の森工事…1件 インパクト：持続可能なまちづくり
合計			4,587	413	グリーン適格プロジェクト 2,255百万円(45%) ソーシャル適格プロジェクト 2,745百万円(55%) 未充当額 0百万円

# 千葉市令和5年度第4回公募公債（サステナビリティボンド） 資金使途事業（1 / 3）

## 千葉都市モルール関連事業



- 千葉市内の空を駆け抜ける千葉都市モルールは、昭和63年に開業し、千葉市中心部と内陸部・臨海部を効率よく連結し、市の基幹となる交通機関としての役割を担っています。15.2kmの全体営業距離は懸垂型モルールとしては世界一の長さであり、ギネスレコードに登録されています。
- 開業から30年以上が経過し、モルール施設は老朽化に伴う施設更新時期を迎えています。これらの施設更新にあたっては、輸送の安全確保はもちろんのこと、誰もが利用しやすい施設とするとともに、脱炭素の観点から、省エネルギー性能の高い設備や機器類の導入に努めています。
- 令和5年度においては、照明のLED化等の駅舎設備改修を実施したほか、電力を効率よく利用可能なVVVFインバーター制御装置を搭載した回生車両の導入を促進しました。

- ✓ 回生車両導入車両数…1編成2両
- ✓ 駅舎設備改修…天台駅、千城台北駅
- ✓ CO<sub>2</sub>排出削減量…106.2697t-CO<sub>2</sub>/年

▼回生車両



▼駅舎改修



## 新庁舎整備事業



- 平成23年3月11日に発生した東日本大震災では、千葉市役所本庁舎においても、職員が一時避難せざるを得ない状況となり、復旧に向けた初動体制の構築に時間を要したなど、防災拠点としての機能が不足しているという課題が浮き彫りとなりました。
- これを受け、庁舎が抱える課題を整理し、平成27年6月に「千葉市新庁舎整備基本計画」を公表しました。この中で、建物構造や設備等の耐震安全性を備えることや、再生可能エネルギー等を活用し環境負荷を抑えた庁舎を目指す等、新庁舎整備の方向性が示されています。
- 本事業は、建築物省エネルギー性能表示制度であるBELSによる5段階評価の最高ランクを獲得しました。また、同規模の標準指標ビルと比較し一次エネルギーの年間消費量が50%以上削減されている建築物であるとして、「ZEB Ready」の認証を取得しました。

- ✓ BELSの最高ランクの5つ星を獲得
- ✓ 第三者評価機関によるZEB Ready認証を取得
- ✓ CO<sub>2</sub>排出削減量…249.9934t-CO<sub>2</sub>/年

▼新庁舎外観



▼太陽光発電設備



# 千葉市令和5年度第4回公募公債（サステナビリティボンド） 資金使途事業（2 / 3）

## 河川管理事業（浚渫工事）



- 千葉市内の河川は、後背地に水源となる山地がないため、湧水と生活排水を水源とし、多くの河川が海拔10~20m程の低地の谷津を流れ、川幅が狭く、自己水量も乏しいことが特徴です。
  - 内陸部の急激な都市化に伴い、自然の持つ保水機能や流量調節機能が著しく低下しています。そのため、集中豪雨などに対する治水安全度も相対的に弱まり、河川沿川地域では浸水や冠水のおそれがあります。水害を未然に防ぎ、あわせて市民の憩いの場となるような水辺を再生するため、これまでに各種の河川改修事業が行われてきました。
  - 千葉市が管理している二級河川の坂月川や準用河川の生実川等にて、川底に堆積した土砂を取り去る浚渫（しゅんせつ）工事を実施しました。河川の有する流下能力が確保され、適正な維持管理が行われています。
- ✓ 二級河川坂月川の738mの浚渫工事を実施
  - ✓ 準用河川生実川の185mの浚渫工事を実施
  - ✓ 高田排水路の350mの浚渫工事を実施
  - ✓ 上記3事業における川底に堆積した6,220㎡の土砂を除去

▼生実川（施工前）



▼生実川（施工後）



## 小学校改修事業



- 子どもたちは、未来の社会において中心的な役割を担う大切な「人財」です。その貴重な「人財」である子どもたちが健やかに成長していくまちを実現するためには、少子化の進行、共働き世帯の増加など子育て世代を取り巻く環境の変化に対応し、様々な理由で困難な状況に陥ってしまったとしても、誰一人取り残すことなく適切な支援ができるよう、社会全体で子育てを支え、子どもを産み育てたいと思える環境づくりが必要です。
  - 安全・安心で時代に即した教育を受けられる環境を整備するため、学校施設の大規模改造や学校の適正規模・適正配置等の取組みを推進しています。
  - 令和5年度に実施した扇田小学校・有吉小学校・打瀬小学校・稲毛小学校等の外部改修工事、平成29年度に実施した小倉小学校・松ヶ丘小学校の大規模改造工事を資金使途としました。
- ✓ 令和6年5月1日時点の対象校児童数…7,210人  
本町小 331人、稲毛小 417人、小谷小 655人、大椎小 142人、有吉小 443人、打瀬小 852人、金沢小 684人、扇田小 324人、瑞穂小 218人、加曽利中 423人、打瀬中 666人、有吉中 708人、星久喜中 272人、小倉小 755人、松ヶ丘小 320人

▼扇田小学校（施工前）



▼扇田小学校（施工後）



# 千葉市令和5年度第4回公募公債（サステナビリティボンド） 資金使途事業（3 / 3）

## 橋梁の長寿命化・架替工事



- 千葉市では、大規模地震に備え、震災時の緊急輸送道路の交通確保と二次災害防止のため、橋梁の耐震補強を進めています。被災した場合の影響を考え、災害時における緊急車両や緊急物資の輸送路として位置付けられている緊急輸送道路に架かる橋梁や鉄道を跨ぐ橋梁などから、優先的に実施しています。
  - 橋梁の長寿命化を図るとともに、中長期を見据えたコスト縮減を目指し、「千葉市橋梁長寿命化修繕計画」を策定しました。同計画に基づく予防保全的な修繕の実施や、使用限界を迎えた橋梁の架け替えにより、コスト縮減を図りながら道路交通の安全性と信頼性を将来にわたり確保していきます。
  - 令和5年度に実施した柏井橋・亥鼻橋の架替工事及び鉄砲塚跨線橋の耐震補強工事、平成29年度に実施した真砂大橋・畑大橋・宮野木大橋等33橋の長寿命化工事・設計、本千葉橋・新都川橋等6橋の耐震補強工事等を資金使途としました。
- ✓ 架替工事2件、長寿命化工事/設計33件、耐震補強工事7件

▼ 柏井橋（架替前）



▼ 柏井橋（架替後）



## トイレのバリアフリー化



- 千葉市では、全面的なバリアフリー化の促進に向けた本市の方針を示すとともに、重点整備地区の見直しや特定事業の設定に向けた検討を行い、市全域のバリアフリー化を促進するため千葉市バリアフリーマスタープランを策定しました。
  - このマスタープランの中で定めるバリアフリー化の目標の一つに、安心して行動でき、いきいきとした社会参加ができる環境づくりを目指すことを掲げており、千葉市が目指す「誰一人取り残さない」持続可能な社会の実現に向け、様々な施策を推進しています。
  - 特に、学校施設においては、老朽化したトイレについて、衛生環境の向上やバリアフリー化を目的とした工事を進めており、令和6年度末までに全ての市立学校のトイレ改修を完了させる予定です。
  - 令和5年度においては、市内小中養護学校、昭和の森のトイレ改修工事を実施しました。
- ✓ 市内小・中・養護学校トイレ工事189件、設計100件  
✓ 昭和の森トイレ工事1件

▼ 誉田東小学校トイレ



▼ 昭和の森トイレ



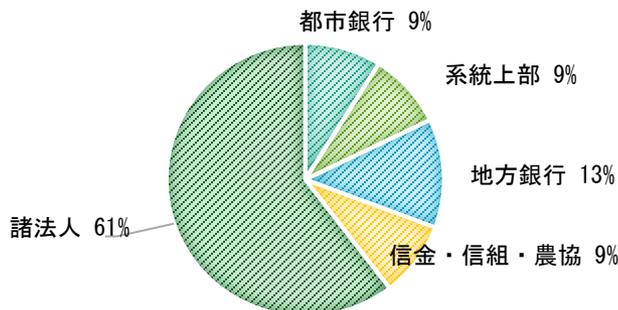
# 千葉市令和5年度第7回公募公債（ブルーボンド） 発行概要/投資表明投資家

- 令和5年12月に、日本国内の自治体で初めて、調達資金の全額がブルー適格プロジェクトに充当されるブルーボンドを発行しました。
- 発行額30億円に対し**66.4億円(約2.2倍)**の需要が寄せられ、**27件**の投資家様に購入いただきました。

## 発行概要

名称	千葉市令和5年度第7回公募公債（ブルーボンド）
年限	10年（満期一括償還）
発行額	30億円
応募額	66.4億円
利率	0.884%
条件決定日	令和5年12月8日（金）
発行日	令和5年12月26日（火）
引受会社	三菱UFJモルガン・スタンレー証券（事務）、みずほ証券
購入対象	機関投資家向け

### 投資表明 投資家の内訳 (件数ベース)



※小数点以下を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合があります

## 投資表明投資家一覧（敬称略・50音順）

1	安房運輸株式会社	13	株式会社千葉銀行
2	株式会社安西製作所	14	公益財団法人千葉県私学教育振興財団
3	印旛沼土地改良区	15	株式会社千葉興業銀行
4	太田プレス株式会社	16	千葉テレビ放送株式会社
5	大塚建工株式会社	17	ちば東葛農業協同組合
6	株式会社千葉銀行	18	株式会社電洋社
7	三洋コンクリート工業株式会社	19	公益財団法人日本海事広報協会
8	株式会社シー・エス・ランパー	20	日本コプ共済生活協同組合連合会
9	信金中央金庫	21	本町化学工業株式会社
10	株式会社センエー	22	株式会社みずほ銀行
11	全国共済農業協同組合連合会	23	株式会社三菱UFJ銀行
12	たじま農業協同組合		

## 第9回サステナブルファイナンス大賞における表彰

- ・ 環境金融研究機構が2015年より実施しているサステナブルファイナンス大賞において、千葉市が地域金融賞に選定されました。
- ・ 国内自治体で初めてとなる、資金用途を全額「水の循環」に関するブルー適格プロジェクトとするブルーボンドの発行が評価されました。

国内自治体初！調達資金の全額がブルー適格プロジェクトに充当される債券「ブルーボンド」を発行



過去から現在にかけて  
**海、つまり水との関係性が深い千葉市**

- ・ 世界有数の貝塚数、中でも国内最大規模の加賀利貝塚
- ・ 日本一長い人工海浜
- ・ 日本最大級の貨物取扱量を誇る千葉港
- ・ 遠浅の海の恩恵を受け発展してきた地域性



加賀利貝塚 人工海浜 千葉港

# 千葉市令和5年度第7回公募公債（ブルーボンド） 資金充当状況/インパクトレポーティング概要

プロジェクト分類	対象事業	貢献するSDGs	充当額(百万円)		整備内容、整備箇所数
			新規分	借換分	
(ブルー適格プロジェクト) 汚染の防止と管理 水衛生	管渠改築事業	 	1,835	0	今井地区下水道施設改良工事 小仲台地区下水道施設改良工事 みつわ台地区下水道施設改良工事 他34件 総工事延長32.5km
(ブルー適格プロジェクト) 汚染の防止と管理 水衛生	ポンプ場改築事業	 	410	0	都ポンプ場自家発電設備改築工事 若葉ポンプ場受変電設備改築工事 他5件
(ブルー適格プロジェクト) 汚染の防止と管理 水衛生	浄化センター整備事業	 	755	0	南部浄化センター下水汚泥固形燃料化事業 南部浄化センター汚泥濃縮機電気設備改築工事 中央浄化センター水処理施設防食工事 中央浄化センター水処理施設躯体改築工事 他10件
合計			3,000	0	ブルー適格プロジェクト 3,000百万円(100%) 未充当額 0百万円

# 千葉市令和5年度第7回公募公債（ブルーボンド） 資金使途事業

## 管渠改築事業



- 下水道は、生活排水等の汚水処理による衛生的な生活環境の実現や、海や河川等の公共用水域の水質保全など、私たちの安全・安心で快適な生活に欠かせない重要なライフラインとなっています。
- 千葉市では、令和4年度末現在約3,760kmの管路施設を管理していますが、老朽化している管渠が存在しており、「千葉市下水道ストックマネジメント計画（第2期）」に基づき、計画的な改築を行っています。また、「千葉市下水道総合地震対策計画」に基づき、下水道管路の耐震化も併せて進めています。
- 令和5年度においては、今井地区下水道施設改良工事、小仲台地区下水道施設改良工事、みつわ台地区下水道施設改良工事、他34件の事業を資金使途としました。

### ▼みつわ台地区下水道施設改良工事



## ポンプ場改築事業



- ポンプ場は、管渠で自然流下できない部分を補うため、ポンプで揚水する機能を有しています。
- 千葉市では、現在148か所のポンプ場が稼働しています。ポンプ場をはじめとする機械電気設備の耐用年数は管渠等の他の下水道インフラと比較して短いことから、「千葉市下水道事業中長期経営計画（計画期間：令和3年度～令和14年度）」に基づき、計画的な維持・修繕及び改築を実施することにより、ポンプ場の適正な機能維持に努めています。
- 令和5年度においては、中央区の都ポンプ場自家発電設備改築工事、美浜区の若葉ポンプ場受変電設備改築工事、他5件の事業を資金使途としました。

### ▼都ポンプ場自家発電設備改築工事



## 浄化センター整備事業



- 浄化センター（処理場）は、管渠施設により集められた下水をきれいな水にするための施設です。
- 千葉市には、中央処理区を受け持つ中央浄化センター、南部処理区を受け持つ南部浄化センター、印旛処理区を受け持つ花見川終末処理場及び花見川第二終末処理場があり、管渠やポンプ場を経由して流入した下水を水質汚濁防止法で定める基準をクリアした状態に処理した上で、東京湾に放流しています。
- 令和5年度においては、南部浄化センター下水污泥固形燃料化事業、南部浄化センター污泥濃縮機電気設備改築工事、中央浄化センター水処理施設防食工事、中央浄化センター水処理施設躯体改築工事、他10件の事業を資金使途としました。

### ▼中央浄化センター水処理施設防食工事





## 本資料に関するお問い合わせ先

---

### 千葉市財政局財政部資金課

〒260-8722 千葉市中央区千葉港1番1号

TEL : 043-245-5078

FAX : 043-245-5535

E-MAIL : [shikin.FIF@city.chiba.lg.jp](mailto:shikin.FIF@city.chiba.lg.jp)

---